



優秀賞

剣淵町



キヌア普及用 パンフレット



けんぶち産キヌア(20g)

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体 けんぶちキヌア生産普及組合 【剣淵町】

剣淵町特産品「キヌア」の生産振興

はじめは？

平成21年10月に「VIVAアルパカ牧場」がオープンしたことがきっかけで、剣淵町は、平成23年7月にペルー共和国フニン県タルマ市パルカマヨ区と姉妹都市提携を交わし、交流を深めてきました。これらの交流が縁で、アンデス地方原産キヌアの特産化を目指すこととなり、栽培方法等の検討を重ね、平成27年度から若手農業者3名、VIVAアルパカ牧場で栽培試験に取り組みました。

平成28年には、剣淵町内の農業者及び団体により、けんぶちキヌア栽培普及組合を設立（高橋朋一代表、現在6農業者及び1団体が構成）し、商品化のための栽培試験を開始しました。

おもな活動

キヌアの生産振興を図るため、栽培から収穫、製品化に関する一連の技術研究に取り組むとともに、生産者の所得向上を図るため、キヌアが備える優れた栄養成分や機能性についてPRしながら、市場調査や実需者（バイヤー）との意見交換を行い、販売先を開拓しています。



キヌア播種作業状況



キヌアの花

ここが自慢

キヌアは南米原産の穀物のため、国内での機械を使った栽培事例がなかったことから、栽培に関する全てが手探りの状態でした。会発足前の平成27年から始まっていた試験栽培では、開始2年目までは播種してもほとんど発芽せず、3年目には機械による播種技術の改良により発芽したものの、収穫適期見極めの失敗や害虫等の被害により収穫できないという状況が4年目まで続きました。5年目には防除・除草対策の効果があり、収穫に成功。しかし、収穫後のゴミやキヌアに含まれる苦み成分「サポニン」を除去しなければ、製品として需要が無いことが判明し、この年も販売は断念。クラウドファンディングの活用などにより洗浄機等の機械を導入し、生産から調整までの体制を確立。



収穫作業

6年目の収穫物を令和3年3月に「けんぶち産キヌア」として販売を開始しました。

連絡先

代表者名：高橋朋一さん／設立：2016年／会員：7名

住所：北海道上川郡上川町南町180番地

電話番号：0165-26-7120

F A X：0165-26-7130

E-mail：-

U R L：-